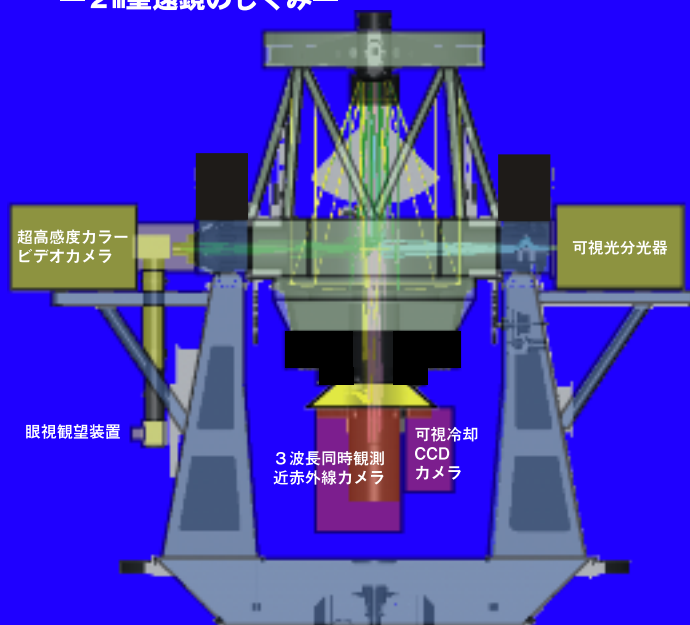
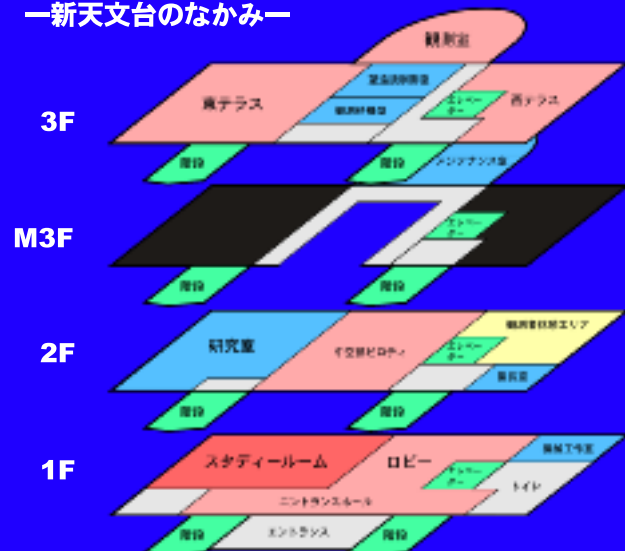


—2m望遠鏡のしくみ—



2m望遠鏡には光を集める場所が3ヶ所あり5つの観測装置が搭載されています。望遠鏡内部の小さな鏡を動かすことで、観測装置ごとに光を導く経路を素早く切り替えることができます。また最新のコンピュータ技術によって、専門的な観測操作をわかりやすく簡単に行える工夫がされています。

—新天文台のなかみ—



スタディールームやロビーでは2m望遠鏡が捉えた宇宙の映像を大画面で見られる他、公開ネットワーク設備により、最新の天文情報を閲覧したり、自ら情報発信したりすることができます。



2004年11月

星とゆかりの深い佐用郡に 国内最大2m望遠鏡 を備えた 最先端公開天文施設誕生

西はりま天文台公園に2m望遠鏡を備えた新しい天文台が誕生します。鏡の直径が2mの望遠鏡は、日本国内にある望遠鏡として最大であるばかりでなく、目で覗くことのできる公開望遠鏡としては「世界最大」を誇ります。西はりま天文台公園は、遠くにある天体の存在を目で確かめ、現代天文学が解き明かした宇宙の姿を実感できる、最先端の体験施設へと成長します。

兵庫県立西はりま天文台公園

お問い合わせ

宿泊 : 0790-82-0598, syukuhaku@nhao.go.jp

天文台 : 0790-82-3886, harima@nhao.go.jp

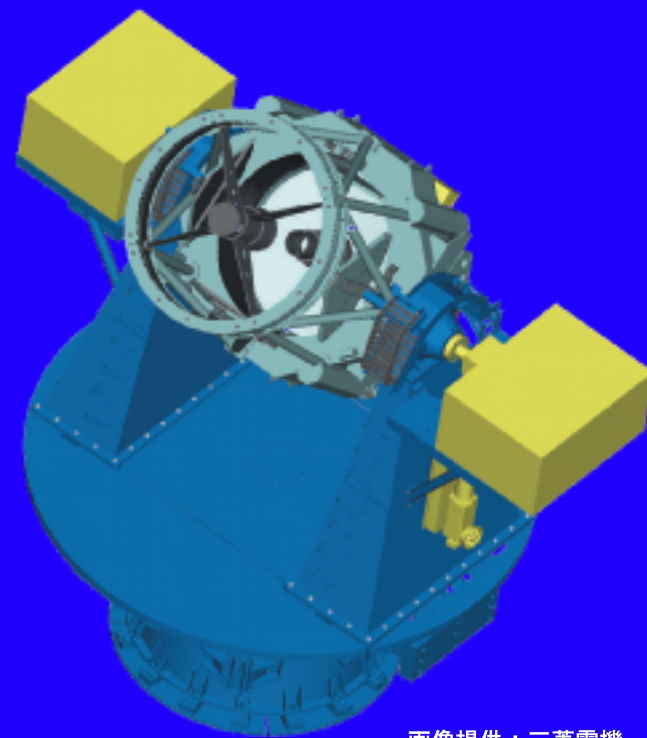
情報提供

テレホンサービス : 0790-82-3377

ホームページ : <http://www.nhao.go.jp>

〒679-5313 兵庫県佐用郡佐用町西河内407-2

西はりま天文台 2m望遠鏡, 新天文台 のご案内



画像提供 : 三菱電機

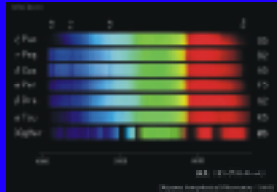


兵庫県立西はりま天文台公園

2 m望遠鏡でできること

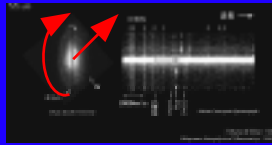
宇宙を探索

可視分光器で天体の様々な性質を調べる

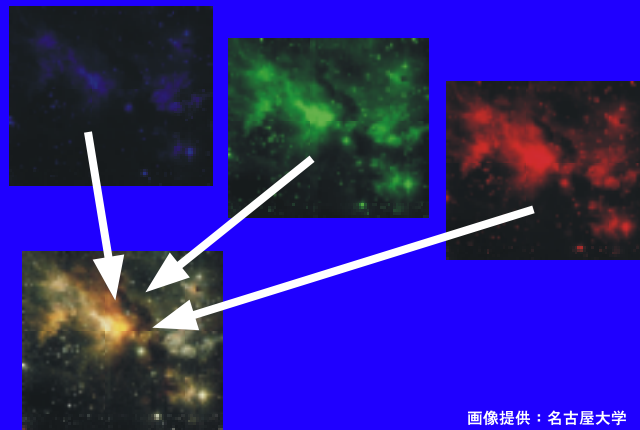


天体が放つ光を様々な色の成分に分解して、そこに現れる筋模様を調べると、天体に含まれる物質についてわかります。

また、その筋模様を別の視点で調べると、例えば渦巻き銀河が回転している様子や地球から遠ざかる運動の様子を知ることができます。



3波長同時観測近赤外線カメラで星が生まれる様子を調べる



画像提供：名古屋大学

宇宙に浮かぶガスの雲（星雲）を近赤外線という目に見えない光で3波長を同時に観測します。カラーで表現された画像を見ることで、星が生まれている様子が直感的にわかります。

可視冷却CCDカメラで宇宙の果てに迫る



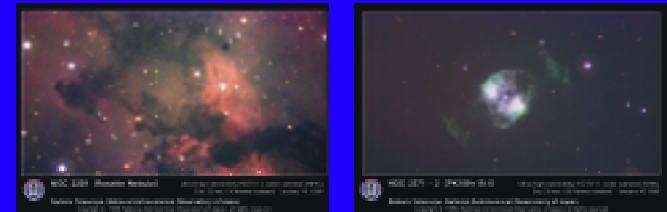
ヒクソンコンパクト銀河群
(国立天文台)

画像提供：三菱電機

色のある鮮明な宇宙を記録

超高感度カラービデオカメラ

画像提供：国立天文台



宇宙の様々な姿を鮮明なカラー映像として記録できます。

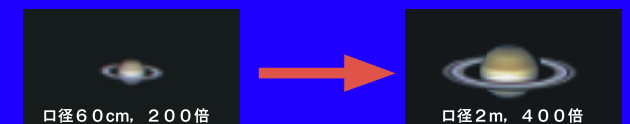
遠くのを大きく明るく見る

眼視観望装置

画像提供：国立天文台、NASA



2m望遠鏡を使うと宇宙の奥深く、銀河（1000億個程の星の大集団）が群れている様子や、銀河同士が衝突している姿が、目で確かめられるようになります。



おなじみの土星も大きく明るく。